



### 第3回(平成29年度) 日建連 けんせつ小町活躍推進表彰 受賞内容



<b>特別賞</b>	会社名	<b>株式会社安藤・間</b>	活動主体の名称(30字以内)
	部署名	東北支店 小高作業所	<b>子育て中でも現場へ！ 現場内のフォロー体制</b>
活動の概要 (100字以内)		社内初の育児休業明けでの現場復帰の事例であり、育児と両立させながら力を最大限に発揮できるよう、現場内でのフォロー体制を形成することにより、今後増えていく女性技術者の活躍を推進する。	
女性の活躍推進に資する活動の目的、内容、効果	背景・目的	<p>育児休業から復帰して現場で施工管理をする事例が今までなかった。そこには</p> <p>①施工管理という仕事の特性上、急な欠勤や早退(子どもの病気等)で仕事に影響がでる</p> <p>②長時間労働というイメージが未だにあるため、育児中で時間が制限される場合は難しい</p> <p>といった課題があった。しかし、女性技術者も増えている今、育児と施工管理を両立していくためのフォロー体制構築の必要性があった。</p>	
	主な内容 (具体例等)	<p>『勤務時間の制限をカバーするフォロー体制』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園への送迎により勤務時間が制限されるため、朝礼への参加は免除。そのため、その日の伝達事項や引継ぎ事項等は前日に打合せを行ない周知をする。</li> <li>・子どもの病気等で急に早退、欠勤する場合も現場がスムーズに進むよう、業務の情報やデータ等は共有フォルダに保存し、職員全員が閲覧できるようにしておく。</li> <li>・工種による大まかな主担当は決まっているが、担当外でもフォローできるよう副担当として業務を日頃行うことにより、急な欠勤や早退でも対応できるようにしておく。</li> </ul>	
	効果 (広がり・変化・影響等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児中の職員だけでなく、他の職員全員が業務時間削減や休日取得に向けて積極的になった。</li> <li>・これまでは主に各自の担当工種のみを対応していたが、副担当としてフォローできるような体制により、他の工種にも接する機会が増え、業務経験の幅が広がった。</li> <li>・定例の打合せ以外でも職員同士コミュニケーションをとる機会が増え、職場の雰囲気明るくなった。</li> </ul>	
		 <p>集合写真(2列目左から2人目が志賀)</p>	